

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)

担当3連合地区(保土ヶ谷地区・保土ヶ谷中地区・保土ヶ谷東部地区)は国道1号線を挟み両斜面に位置するため、必然的に坂や階段が多い地域となっております。特に傾斜地に面している地区は身体状況の変化があれば、孤立等につながりやすく、より、つながりや介護予防などの視点が必要になります。それぞれの地区で課題等がありますが、高齢化率の上昇に伴い、今まで以上に地域の実情を見据えた支援が必要とされています。

(今後の方向性)

地域福祉保健計画の地区別計画の推進や地域との顔の見える関係づくりの推進、関係機関との連携強化を図っていく必要があります。地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした話し合いの場やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、地域で支えるコミュニティ及びネットワークの構築を推進します。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

— 具体的な取組内容 —

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の様々な会議の場や、自主事業参加者・施設利用団体とのコミュニケーションを積極的にし、気軽に話せる関係づくりに努めます。また参加者同士のコミュニケーションを図ることで、会話の中に潜在しているニーズを引き出しやすくします。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昨年度介護予防教室を機に連携がとれた地域においては保健師とコーディネーターを中心に、住民がもとめる支援や事業を、専門職や関係機関を巻き込みながら実施していきます。また他の地域においても、意識的に対話を心がけ、その地域の課題を捉えながら必要な働きかけを行っていきます。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	キャラバン・メイト等と認知症交流会を実施し、介護事業所や民生委員等地域住民と連携し、安心して過ごせるまちづくりについて、情報発信や必要な取組を検討していきます。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアマネジャーの困りごとに対し、区役所高齢障害支援課・生活支援課、医療機関、区社協などの関係機関と地域で活動している住民との連携を図り必要な支援をおこなっていきます。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	今年度も、社会資源の情報収集と活用について、利用者やケアマネジャーに伝えられるよう、生活支援コーディネーターと地域交流コーディネーターと連携を行っていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和6年度横浜市岩崎地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正・中立な立場で対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が公正・中立でなければならないことを理解している。 ・個別支援にあたり、サービスが特定事業者には偏らないように配慮します。 ・利用者本人、家族の意思を尊重していきます。 ・利用者に事業所一覧を提示する等、複数の選択肢があることを説明します。 ・年1回以上の利用者アンケートの実施を行います。 	<p>法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施します。 ・チェックリスト(別紙)を用いて定期的に自己点検を実施します。 ・個人情報の重要性を認識し適切な取得、利用、提供、管理します。 ・予め予測できる危険については積極的に対処していきます。 ・事件・事故等が発生した場合、迅速な報告、適切な対応に努めます。 ・日常的に衛生管理・感染症対策を図っていきます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>ケアマネジャーが介護予防の視点を常に持ち、適切なアセスメントや自立支援に資するケアプランの作成ができるように、多職種と連携し、地域資源の開発や情報整理・発信を行っていきます。</p>	<p>利用者の心身の状況、生活環境に応じてご本人が自立した生活が送れるよう、各関係機関と連携を図りながら、適切な計画を作成する。また月4回の会議を実施したり、他事業所と事例検討会を行い処遇困難ケースについての方針を話し合ったり、各ケースの問題点を検討し、質の高いサービスを提供していきます。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】 通常の事業の実施地域を越えた所から公共交通機関を利用した実費を徴収する。通常の事業の実施地域を越えた所から、片道分20キロメートルあたり500円交通費</p>
職員体制	<p>社会福祉士(管理者):1名(兼務) 保健師:1名(専従) 事務員:1名(兼務) 主任介護支援専門員:1名(専従) <1名増員予定></p>	<p>主任介護支援専門員(管理者):1名(兼務) 主任介護支援専門員:1名(専従) <1名増員予定> 介護支援専門員:2名(専従)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	介護支援専門員や他事業所と綿密な連携をとり、ご利用者様が自立・安定した生活が送れるよう、状態を把握し、身体状況の維持・向上を図ります。個別機能訓練(通所介護対象)では、ご希望者対象にご本人様・ご家族様の要望に沿った目標・プログラムを作成し個別メニューで実施します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:00～16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ・食費負担 800円(おやつ代100円を含む) ・通常の事業の実施地域を超えた所から片道10kmごと800円 ・紙オムツ1枚80円・紙パンツ1枚100円・パッド1枚20円 ・教養娯楽費 実費 ・当日キャンセル 昼食代相当額100% ・前日の17:00までのキャンセル 昼食代相当50%	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名 生活相談員(介護職員兼務) 5名 看護師 5名 介護職員 8名 運転手 0名 栄養士 1名 調理員 4名 事務員 1名		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支予算書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,740,364		18,740,364		18,740,364	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	3,715,194		3,715,194		3,715,194	施設使用料相当額控除、光熱水費控除
収入合計	22,455,558	0	22,455,558	0	22,455,558	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,615,558	0	12,615,558	0	12,615,558	法人本部経費は含まず
本俸	8,592,000		8,592,000		8,592,000	
社会保険料	908,000		908,000		908,000	
手当計	2,914,558		2,914,558		2,914,558	
健康診断費	56,000		56,000		56,000	
勤労者福祉共済掛金	31,000		31,000		31,000	
退職給付引当金繰入額	114,000		114,000		114,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,637,000	0	1,637,000	0	1,637,000	法人本部経費は含まず
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	180,000		180,000		180,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	50,000		50,000		50,000	
リース料	30,000		30,000		30,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	845,880		845,880		845,880	
事業費	400,000	0	400,000	0	400,000	法人本部経費は含まず
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000		400,000	
その他	0		0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0		0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0		0		0	
管理費	7,329,000	0	7,329,000	0	7,329,000	法人本部経費は含まず
光熱水費	5,830,000		5,830,000		5,830,000	
清掃費	747,000		747,000		747,000	
機械警備費	116,000		116,000		116,000	
設備保全費	636,000	0	636,000	0	636,000	
空調衛生設備保守	300,000		300,000		300,000	
消防設備保守	46,000		46,000		46,000	
電気設備保守	78,000		78,000		78,000	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	192,000		192,000		192,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まず
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	法人本部経費は含まず
支出合計	22,455,558	0	22,455,558	0	22,455,558	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	0	400,000
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	0	△ 400,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	0	△ 21,120	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支予算書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,234,864		26,234,864		26,234,864	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,928,251		5,928,251		5,928,251	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	32,317,115	0	32,317,115	0	32,317,115	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,015,115	0	27,015,115	0	27,015,115	法人本部経費は含まず
本俸	15,101,855		15,101,855		15,101,855	
社会保険料	3,755,000		3,755,000		3,755,000	
手当計	7,618,260		7,618,260		7,618,260	
健康診断費	75,000		75,000		75,000	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000		30,000	
退職給付引当金繰入額	435,000		435,000		435,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,715,000	0	1,715,000	0	1,715,000	法人本部経費は含まず
旅費	35,000		35,000		35,000	
消耗品費	12,000		12,000		12,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	48,000		48,000		48,000	
通信費	314,000		314,000		314,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	58,000		58,000		58,000	
リース料	7,000		7,000		7,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	1,231,000		1,231,000		1,231,000	
事業費	1,264,000	0	1,264,000	0	1,264,000	法人本部経費は含まず
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	240,000		240,000		240,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	240,000		240,000		240,000	
その他	0		0		0	
管理費	2,197,000	0	2,197,000	0	2,197,000	法人本部経費は含まず
光熱水費	1,791,000		1,791,000		1,791,000	
清掃費	200,000		200,000		200,000	
機械警備費	31,000		31,000		31,000	
設備保全費	175,000	0	175,000	0	175,000	
空調衛生設備保守	75,000		75,000		75,000	
消防設備保守	13,000		13,000		13,000	
電気設備保守	21,000		21,000		21,000	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000		6,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	60,000		60,000		60,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まず
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	法人本部経費は含まず
支出合計	32,317,115	0	32,317,115	0	32,317,115	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	634,000	0	634,000	0	634,000	
自主事業 収支	△ 634,000	0	△ 634,000	0	△ 634,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書<介護保険事業分>

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

令和6年4月1日~令和7年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護								
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	1,953		1,953	16,111		16,111	85,318		85,318			0			0
その他	0	0	0	569	0	569	6,979	0	6,979	0	0	0	0	0	0
事業・負担金収入	0		0	0		0	6,979		6,979			0			0
認定調査委託料	0		0	569		569	0		0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他	0		0	0		0	0		0			0			0
収入合計(A)	1,953	0	1,953	16,680	0	16,680	92,297	0	92,297	0	0	0	0	0	0
支出															
人件費	1,171		1,171	14,855		14,855	68,738		68,738			0			0
事務費	100		100	975		975	2,306		2,306			0			0
事業費	100		100	0		0	8,235		8,235			0			0
管理費	370		370	1,450		1,450	8,692		8,692			0			0
その他	0	0	0	0	0	0	3,795	0	3,795	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額	0		0	0		0	5		5			0			0
消費税	0		0	0		0	0		0			0			0
介護予防プラン委託料	0		0	0		0	0		0			0			0
修繕積立	0		0	0		0	790		790			0			0
本部繰入	0		0	0		0	3,000		3,000			0			0
			0			0			0			0			0
その他	0		0	0		0	0		0			0			0
支出合計(B)	1,741	0	1,741	17,280	0	17,280	91,766	0	91,766	0	0	0	0	0	0
収支 (A)-(B)	212	0	212	-600	0	-600	531	0	531	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	岩崎地域ケアプラザ民生委員ケアマネ連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	委託先のケアマネジャーと、民生委員が日頃お互いが困っていること等について意見交換、連携強化を図る。	6:事業者		内容:担当エリア内の民生委員、ケアマネジャーに参加いただき、地域資源と高齢者の生活課題を共有する。 時期:未定		
2	福祉用具の展示・相談会(もくようびのすまいる)	令和2年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	(もくようびのすまいる)居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援等を総合的に行い、あわせて、ネットワーク構築をおこなう。	5:地域		内容:介護用品等の紹介と、必要に応じて相談会の実施 時期:6月、9月、12月(もくようびのすまいる内)		
3	スマートフォン教室(もくようびのすまいる)	令和2年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	(もくようびのすまいる)居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援等を総合的に行い、あわせて、ネットワーク構築をおこなう。	1:高齢者		内容:スマホの便利機能、ラインの基礎についての講座 時期:6月(もくようびのすまいる内)		
4	権利擁護相談会(もくようびのすまいる)	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護に関する普及啓発と生活課題の早期発見と課題解決。	1:高齢者		内容:司法書士・行政書士による出張相談(年6回程度)、相談会(年4回) 時期:相談会 6月、9月、12月、3月(もくようびのすまいる内実施) 出張相談 随時		
5	認知症交流会	令和5年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワークの構築をおこなう。	5:地域		内容:認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを行うための活動をおこなう。 時期:原則第2月曜日		
6	認知症サポーター養成講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症理解の普及・啓発	5:地域		内容:キャラバン・メイトと共に認知症サポーター養成講座の実施。 時期:年1回、他依頼に応じて随時		
7	区内合同認知症サポーター養成講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	区域の事業所を対象に講座を実施することで、認知症の人とその家族が暮らしやすいまちづくりを推進する。	6:事業者		内容:認知症部会を通じ、区域事業として認知症サポーター養成講座を開催する。 時期:随時		
8	健康教育	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・フレイルについての知識を深め、社会参加の機会と合わせて介護予防について学ぶ。 ・手軽にできるようなプログラムを組み、セルフケアにつながるようにする。	1:高齢者		内容:フレイル予防のためのロコモ予防、口腔・嚥下機能向上、栄養状態改善をねらいとした教室を開催する。 時期:未定		
9	介護予防出張教室	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・介護予防についての知識を深め、また社会参加の機会ができることでいっそうの健康増進や認知症予防につながることを学ぶ。 ・手軽にできるようなプログラムを組み、セルフケアにつながるようにする。	1:高齢者		内容:介護予防のためのロコモ予防、口腔・嚥下機能向上、栄養状態改善、認知症予防をねらいとした教室を開催する。 時期:未定		
10	地域自主活動グループ活動支援	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域活動グループの活動支援。活動のモチベーション維持・向上を図る。	1:高齢者		内容:現在活動している、地域活動グループの実態を把握する。活動グループに対してモチベーションの維持及び活動力アップにつながる体力測定や健康講座等を実施。年2~3回程度 時期:活動グループの希望に応じて		
11	出張講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防、介護保険制度、権利擁護の普及・啓発、ケアプラザの機能についての周知等	5:地域		内容:自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象に地域のニーズに応じた講座の実施 時期:随時		
12	こどもランド	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の居場所作り 参加者同士(親子)の交流の場を提供	3:養育者及び乳幼児		内容:未就園児の子と保護者対象。内容によって区地域子育て支援拠点こっころ等と共催にて実施 時期:年22回程度。毎月第1土・第3土曜日10~14時		
13	幼稚園ママに聞いちゃおう	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	これから入園を予定している子をもつママが先輩ママにお話を聞き、育児に対する不安解消やネットワークづくりを目的とする。	5:地域		内容:幼稚園に入園を予定している親対象。 時期:年1~2回実施。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	プラザまつり	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	こどもから高齢者まですべての年代の方々を対象としたお祭りを実施することで、地域の方々にケアプラザの周知をし、地域住民との顔の見える関係作りを構築することを目的とする。	5:地域		内容:岩崎地域ケアプラザを会場にステージ発表やブース出展等をおこなう。 時期:未定(年1回程度)		
15	ほっとフレンズ2024夏	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供します。	2:障害児・者	4・5	内容:ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に運動会と名打ち身体を動かす楽しさを得る機会を設けながら余暇の支援を行う。 時期:7月		
16	ほっとフレンズ2024春	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供します。	2:障害児・者	4・5	内容:ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に実行委員会が決定した内容に沿って各機関と協働して余暇支援を行う。 時期:3月		
17	岩崎サポートネットワーク	平成26年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	貸室における注意事項等の確認や団体間の交流および協力体制の構築 介護予防の普及・啓発、インフォーマルサービスの周知	7:その他		内容:地域住民、貸室代表者、ケアマネジャー等対象に、活動団体紹介および体験会の実施と関係機関等との情報交換会の実施。 会場 岩崎地域ケアプラザ 時期:未定 年1回実施予定。		
18	福祉教育授業の参加	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	福祉教育を進めていく中で学齢児から地域福祉の事に関心をもってもらい将来の担い手育成へ繋げていくキッカケ作り	4:子ども・青少年		内容:区内在学の小中学生対象に地域ケアプラザの機能について・地域福祉について・高齢者疑似体験等学年、世代によってテーマを変えた内容を実施する。 時期:随時		
19	ちくちくサロン	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	裁縫を通じた誰でも気軽に集まれる場のきっかけ作りおよび社会貢献(社会参加)	1:高齢者	5	内容:地域住民対象にオープンサロン形式にて実施。また、年1～2回程度 地域の福祉施設への寄贈及び施設見学を実施 時期:年度後半から再開予定。毎月第3水曜日12～15時		